



まも
ひみつは守るから、
あんしん 相談
安心して相談してね。

きみの「たすけて」、
きっと、とどく

ぎゃくたい なや ひと ぎゃくたい
虐待で悩んでいる人、虐待を
み き ひと
見たり聞いたりした人、いじめ
もんだい くる ひと
の問題で苦しんでいる人
そうだん
ご相談ください
そうだん むりよう
相談は無料です

2012年5月講演会

自立援助ホームふきのとう代表 澤田正一さん

「受容され愛着の絆を結ぶ居場所をめざして」

2012年5月6日(日)午後3時30分～午後5時

会場：コンパルホール304号会議室

自立援助ホームとは
義務教育終了後15歳から20歳までの家庭がない児童や、家庭にすることができない児童が入所して、自立を目指す家である。児童自立生活援助事業として児童福祉法に位置づけられている。2012年3月1日現在、全国に81箇所が設置されている。
ふきのとうは2004年にNPO法人を設立してスタート。定員6人の小規模ホームで、幼いころの虐待で人との信頼を築けず苦しんでいる若者や、ホームレスだった青年、食べる物がなく助けを求めてきた少年等が暮らしている。児童養護施設は原則18歳まで。自立援助ホームふきのとうは両親に頼れず、帰る場所のない若者達が一緒に食卓を囲み、仕事に出掛け、ゆっくりくつろげる「家」であり、傷付いた心を癒やし、気持ちを通わせ合う「居場所」となっている。

代表・澤田正一さんのこと 1961年生まれ
NPO法人青少年の自立を支える青空の会理事長
ふきのとうホーム長、専門里親
九州地区自立援助ホーム協議会代表
2歳で県内の乳児院に入り、児童養護施設で育った。高校卒業後就職するが挫折を体験し、Uターン。ボランティアで児童養護施設を卒園した自立困難な青少年と関わる中、地域社会において継続性のあるアフターケアの必要性を痛感する。32才で児童養護施設の指導員となり、被虐待児への対応のため社会福祉士資格を取得。その後、仲間とともに学習会を始めNPO法人を設立。2004年、児童養護施設を退所した青少年を支援しようと、大分市城原の築20数年の元学生下宿を購入。妻の加代さんと自立援助ホーム「ふきのとう」を始めた。2011年11月社会貢献支援財団より社会貢献者表彰受賞

子どもいじめ・虐待相談センター・大分 (通称：BAPOO)

〒870-0047 大分市中島西1丁目4番14号 市民の権利ビル
TEL：097-535-1119 FAX：097-535-0108

そうだんでんわ 097-535-1119

